

1 第11期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理（抜粋）

（文部科学省 令和4年8月）

◆生涯学習について

- ・一人一人がより豊かな人生を送ることができるよう、個人の自発的意思に基づいて行うことを基本として、生涯を通じて行うもの
- ・VUCAの時代において個人の人生を支え、自己実現を図る上で、重要な役割を果たすもの
- ・多様な年代、多彩な属性の他者との関係性の中でより豊かな学びにつながるもの

◆人生100年時代における学習の重要性

- ・高齢者から若者まで、全ての国民に活躍の場があり、全ての人々が元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会をつくる必要がある

◆世帯構成・ライフスタイルの変化

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大
- ・インターネットの普及等に伴う情報通信社会の急速な進展

◆誰一人として取り残さない、社会的包摂

- ・困難な立場に置かれている人々の社会的包摂の実現を推進することが必要

◆多様な障害に対応した生涯学習の推進

- ・本人の学ぼうとする意志を出発点に、本人が学びたいことや課題を自ら発見して取り組む学習とすることが重要

2 市の生涯学習における現状

- ・現行の調布市生涯学習振興プラン及び調布市基本計画に基づく施策展開

◆調布市基本構想（H25～R4年度）



◆調布市基本計画での位置づけ

施策13 生涯学習のまちづくり

【基本計画事業】

- ・学習活動及びまちづくりへの参加の促進
- ・市民の読書・調査活動への支援

まちの将来像の実現に向けた、生涯学習分野の個別計画として策定



◆調布市生涯学習振興プラン（H25～R4年度）

- ・それぞれの興味・関心や生活スタイルに応じた学習ができる
- ・その成果をまちづくりに生かすことができる環境づくり

3 今後の生涯学習振興における考え方（案）

・“人生100年時代”を見据えた生涯学習の推進

人生100年時代において、退職前の40代～50代を含むプレシニア期からの継続した社会活動への参加支援

・生涯学習に関する支援対象の拡大

年齢、障害の有無、国籍などにかかわらず、幅広い市民への生涯学習に関する情報の提供や相談支援→アウトリーチ

・“Society 5.0”に向けた情報通信技術の一層の活用

IoTやAIなどの情報通信技術を活用した、より効果的・効率的な生涯学習のきっかけづくり

・次期調布市基本計画（令和5年度～令和8年度）の策定と合わせた施策の見直し

【現行】

教育基本法に基づき、市が取り組む生涯学習振興施策を個別計画として示している



生涯学習推進協議会での議論やアンケート調査などから、市の生涯学習振興施策として、次期調布市基本計画の中で継続的に位置付けながら、具体的な取組につなげていく

4 検討体制

- (1) 調布市生涯学習推進協議会
 - ・有識者10人以内を新たに任命し、今年度は3回程度協議会を開催
 - ・これまでの取組に対する評価・検証するとともに、次期調布市基本計画への位置付けに向けた、市の生涯学習振興の考え方について議論
- (2) 市民意見聴取
 - ・市民、関係団体等へのアンケート調査
 - ・生涯学習サークルや関係団体、大学等とのヒアリング

5 令和4年度の取組スケジュール案

令和4年12月13日	第1回調布市生涯学習推進協議会 ・今後の生涯学習振興における考え方の共有・検討 ・課題整理
令和5年1月中旬	第2回調布市生涯学習推進協議会 ・今後の生涯学習振興における考え方の継続検討 ・答申（案）確認
2月上旬	第3回調布市生涯学習推進協議会 ・答申提出
3月末日	次期調布市基本計画策定

アンケート実施
関連団体ヒアリング